

臨床研究「救急外来における炎症疾患の重症度評価のマーカーとしての赤血球容積分布幅(RDW)の検討」について

筑波大学附属病院 救急・集中治療科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

様々な傷病者に対応する救急診療において、迅速に重症度を判断することが重要で、それに沿って適切な治療方針を立て、実際の治療などにつながります。迅速で正確な重症度判断は多くの患者様の転機を改善することができます。そのための簡便で低コストでわかりやすいトリージマーカーは常に求められています。ヘモグロビン濃度を測る際に得られる赤血球容積分布幅(RDW)はもともと貧血の指標として用いられてきたデータなのですが、近年、炎症マーカーとしても有用性が報告されており、その重症度を反映しているとの報告がみられます。当院の救急外来でもRDWの値が患者様の重症度の指標とならないか、それが予後に与える影響を検討します。

② 研究対象者

2019年7月1日～2019年8月31日(2ヶ月間)

対象者:上記期間に筑波大学附属病院救急外来を受診し、採血検査をされた患者様

③ 研究期間:倫理審査委員会承認後～2021年3月31日まで

④ 研究の方法

当院救急外来を受診し血算検査を行われた全ての患者のRDWを算出し、患者の転帰(帰宅・一般病棟入院・重症病棟入院)を統計学的に比較検討し、その関連を調べます。同時に、CRPやWBCなど従来、重症度の判定に用いられるデータと比較し、その有用性を検討します。

⑤ 試料・情報の項目(具体的に記載すること)

血液データ、診察データ、その他診療記録

⑥ 試料・情報の第三者への提供について(該当する場合は記載)

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

⑦ 研究機関名および研究責任者名

救急・集中治療科 下條 信威

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院:〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名:救急・集中治療科 下條 信威

電話:029-853-3210(救急部 下條、または 秘書 石井)

平日:9:00～17:00